



立志 栗中だより

学校だより
足立区立栗島中学校
校長 豊崎 努
令和6年2月6日
<http://www.adachi.ed.jp/adku>

「あしもと」

校長 豊崎 努

この原稿を書いている2月5日は雪。帰宅時の「足元」が気になります。ところで「あしもと」(漢字では「足元」「足下」「足許」がありますが、多くの辞書では「足元」のようです)という言葉を知っていますか、どのようなことを思い浮かべますか。

「足元を見る」という言葉は「相手の弱みにつけこむ、相手の弱点を見抜いてそれを利用する」という使い方をします。また「足元を固める」は「物事を行うにあたって自分の立ち位置(置かれた状況や立場)を確認し、ちょっとしたことで揺らがないように念入りに準備すること」という意味で使い、「足場を固める」と同じような意味です。

この「弱み」としての「足元」と、「揺らがない立ち位置」としての「足元」は、一つの「足元」を表裏から見たもののような気がしますが、いかがでしょうか。

私は生徒たちに「振り返り」の大切さを伝えています。達成したことや成功したことはもちろん、できなかったことや足りなかったことも含めて、自分のたどった軌跡を自分自身で振り返ること、自分自身を見つめることが、次へのステップに必要なことだと思います。こうした振り返り作業を「足元を固める」というのだと思います。そして、その中でできなかったことや足りなかったことを「弱み」や「弱点」というのでしょうか。つまり、自分で自分の「足元(弱点)」を見て、それにどのように向かい合い、克服するなり、補強するなり、カバーする(←これも大事)なりして、次のステップにつなげる「足元(揺らがない立ち位置)を固め」ていくのが大切なのだらうということだと思います。

古今東西、完璧な人間などいるはずがありません。誰だって弱みをもって生きているはずなんです。その中で強い人や成功者と思われる人は、自分の「足元を見る」ことで「足元を固める」ことが上手な人なのだと思います。自分に弱みのあることを自覚していると、他の人から何かを指摘されたときに「なるほど」と心の中に入ってくるけれど、自分の弱みを認められていない人は、誰かから指摘されると自分を否定されたようないやな気持ちになる。自分の弱みを知る人は、誰にも弱みがあることが分かり、優しさと共感力に優れている。そんな話を聞いたことがあります。確かに私自身にも心当たりがあります。

年度末が近づき学校もまとめの時期になります。新しく迎える年度で、自分自身がさらに進化していけるよう、できたことと一緒にできなかったことも含めて十分に振り返りたいものです。「弱み=次への課題=成長のポイント=今後の楽しみ」と思ってみたらワクワクできるかもしれません。「自己肯定感が高い」とは「強みと共に弱みがある自分が本当の自分なのだ」と思えることをいいます。生徒たちにも「全て」をひっくるめて自分を認め、自分を丁寧に育てていくことの大切さを伝えていきたいと思っています。

● 校内席書大会 ● ○

1月10日(水)に1、2、3組が、16日(火)に5組が校内席書大会を行いました。1年生は楷書「高原の花」、行書「地域交流」、2年生は楷書「遠い銀河」、行書「将来の夢」、3年生は楷書「不斷の努力」、行書「梅花香る里」、5組は、学年、グループごとに、「生きる力」「明るい年」「大切な命」「春の足音」「美しい山」「平和の光」「強い信念」「有終の美」「表現の美」を書き上げました。全校生徒が、練習から仕上げまで、一心不乱に書いている姿があり、個性が文字に出ている作品となりました。

1月22日(月)～2月17日(土)までの学習発表会展示の部で見学できますので、ぜひご覧ください。



★ ☆ 道徳授業地区公開講座 ☆ ★

1月13日(土)に、道徳授業地区公開講座を行いました。1年生は、「なんのために勉強する?」「どうせ無理したくない」として、自分の日常生活について考えるとともに、向上心をもって取り組むことの大切さや、自分たちがしていることややりたいことをもつことの大切さを考えるよい機会となりました。2年生は、「譲る気持ちはあるのに・・・」として、自分が何かをしようという気持ちをもつこと、率先して動くことができる大切さを考えるよい機会となりました。また、今回の学習を、鎌倉校外学習につなげて、自分たちが意識して取り組むことを考えました。3年生は、「テーブルの卵焼き」から、自分を支えてくれている人がいることを振り返り、家族や自分の周りにいる人たちの大切さについて考えるよい機会となりました。



道徳の授業を通して、身の回りの様々な事象や課題を自分事として考え、意見交換することで道徳的な素養を育てていき、それぞれの成長につなげていきます。

また、その後の意見交換会は、普段の生徒の様子をうかがうよい機会となりました。ご参加いただきました保護者の皆様ありがとうございました。



○ ● 2年生、GTEC(英語4技能テスト) ● ○

1月18日(木)に、2年生でGTEC(英語4技能テスト)を実施しました。2年生の3クラスの生徒全員が、Reading(読むこと)、Writing(書くこと)、Listening(聞くこと)、Speaking(話すこと)の4技能のテストを受けました。普段の授業や家庭学習で4技能を総合的に取り組んでいるので、特に臆することなく、しっかりとテストにのぞんでいました。

都立入試では、ESAT-Jという、英語のSpeakingテストが導入されましたし、Listeningについては、ほとんどすべての高校入試で入っています。もちろん他の2つの技能については、紙での試験で取り組みます。また、国際社会になり、これから先の人生において、英語を使って仕事をする生徒も出てくるかもしれません。

いつか使うかもしれないと思って、何でも取り組んでおくとよいと、先日のキャリア講演会でもお話がありました。今回のテストを、自分たちのこれからにつなげてくれることと思います。



○ ● 栗島小中連携研修 ● ○

1月24日(水)に、今年度最後となる栗島小中連携研修を行いました。
 今年度は、算数・数学部会、道徳部会、生活指導部会、特別支援教育部会、学校保健部会に分かれて1年間の振り返りをして、成果と課題を共有し、来年度の研修の進め方を部会で考えました。その後、各部会の内容を全体で共有しました。
 小中9年間を通して、地域子どもたちを育てていくために、小中共通してどのような取り組みができるのかを深めるよい機会となりました。



○ ● 5組、都バスケットボール大会 ● ○

1月30日(火)に、5組が武蔵野の森スポーツプラザで行われた都バスケットボール大会に出場してきました。
 バスケットボールとポートボールのチームに分かれ、しっかりと練習に励んできました。当日は、朝早い出発でしたが、全員元気に登校し、バスで向かいました。
 普段とは違う体育館ではありましたが、練習してきたドリブルやシュートだけではなく、しっかりとパスをつないでシュートする場面もみられました。目標に向かってチームの仲間と協力している様子もあり、とても有意義な大会となりました。



【結果】

	1試合目		2試合目	
バスケットボール	葛美中	4対6 負け	上平井中	13対3 勝ち
ポートボールA	小松川中B	14対17 負け	松江第一中B	3対20 負け
ポートボールB	小松川中A	2対28 負け	西新宿中	5対5 引き分け



●○3月の主な予定●○

1日(金) 都立一般入試発表、サポーターズアイ配布	7日(木) 3年校外学習
5日(火) 5組お別れ会	11日(月) サポーターズアイ回収
9日(土) 都立分割後期入試	15日(金) 卒業式予行
14日(木) 立志式、分割後期発表	21日(木) 1、2年生保護者会
19日(火) 第43回卒業式	25日(月) 修了式、サポーターズアイ配布
23日(土) 開折式	
26日(火) 春季休業日始	